

東芝エネルギーシステムズ株式会社原子力技術研究所周辺における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目※1

目的	実施範囲	実施項目		採取・測定頻度	測定対象
①周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価	原子力施設近傍	空間放射線量率の測定		連続測定	γ線
		大気中の放射性物質の濃度の測定	大気浮遊じん	3箇月程度連続採取 採取ごとに回収して測定	γ線放出核種
		環境試料中の放射性物質の濃度の測定	指標生物(陸生植物)	大気中の放射性物質の濃度の測定結果において施設寄与が認められた場合に採取・測定	γ線放出核種
②環境における放射性物質の蓄積状況の把握	原子力施設近傍	環境試料中の放射性物質の濃度の測定	土壌	大気中の放射性物質の濃度の測定結果において施設寄与が認められた場合に採取・測定	γ線放出核種
			海底土※2	1年に1回程度	γ線放出核種
③原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価	原子力施設近傍	空間放射線量率の測定		連続測定	γ線
		大気中の放射性物質の濃度の測定	大気浮遊じん	連続測定	施設起因の人工放射性核種

※1 東芝臨界実験装置は廃止措置を三段階に分け、現在、第1段階における機能停止措置、燃料詰め替え及び燃料譲渡しに係る作業を開始している。このため、第1段階における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目をとりまとめたもの。第2段階及び第3段階における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目については、これらの段階における廃止措置計画が認可された段階で、必要に応じ検討することとする。

※2 施設から放出される排水が流入する地点は河口付近に位置するため、海底土を採取する。